

丁寧に接し、やる気が起きるような話し方をする。

理事長 西河洋一

子供は誰でも大切な未来

人を育てることはとても難しいことです。先日、ある会合で『夜回り先生こと 水谷修先生』のお話を伺う機会がありました。

水谷先生は、23年前に横浜の定時制夜間高校に赴任し、それ以来日本全国で深夜の繁華街のパトロールを通じて、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでこられました。

『子供は誰でも大切な未来』と掲げ『人間を信じる』という信念を持ち日々活動されています。いじめ、不登校、引きこもり、リストカット、薬物、売春等の子供達の問題を一人一人と向き合い既に23万人を超える子供達と係わってきた先生のお話です。

良き言葉は良きものを招き、悪き言葉は災いを招く

社会のイライラが子供達の世界に入り込んで影響し問題が生じているのが現状です。問題を起す子供達は、叱られてばかりだから心が病んでいます。怒る大人が原因です。人は褒められる事で自信がついてそれが力になる。だから10褒めて1叱る位で子供達に接したいものです。言葉は『言霊』とも言われ魂が入り『良き言葉は良きものを招き、悪き言葉は災いを招く』といわれ、多くの人々が良い言葉を沢山使えば世の中がきっと良くなるという事を話されました。

人を育てるには、感情を荒立てず良き言葉を選んで丁寧に接する事

子供も大人も同様、相手の話し方によりいやになってしまったり、やる気が起きたり受け手の気持ちが変わります。私が社会人に成り立ての頃、仕事で大きな失敗をしてしまい、当然怒られるだろうと思いつつも失敗を社長に報告しました。ところが、怒られずにその対処法を丁寧に教えてもらった事を思い出しました。

考えてみれば、社員に対して怒った所で何の解決にもならない事は明白です。人を育てるには、感情を荒立てず良き言葉を選んで丁寧に接する事が重要で、やる気が起きるような話し方をする事が大切だと感じました。

以上